

第1日 12月14日(土) / 会場:ロイヤルホール(2階)ほか

《オープニング》(映像・当事者参加のメッセージ)13:45~14:30

「野を越え。山を越え。わたしの町からこんにちは！」

私たちが暮らす長野県は日本列島を縦断するほど南北に長く、日本の屋根と称される日本アルプス、日本を代表する避暑地やスキーリゾート、風光明媚な農村風景…、海こそありませんが、どこもかしこも豊かな自然に囲まれた美しい県です。そんな美しい町をちょっとのぞいてみたいと思いませんか？このイベントに来てくれた皆さんだけに、ちょっとだけお見せします。特別にね、ちょっとだけよ…。

《第2部 分科会》14:45~17:30

第2部、今回は特出し4分野●「全国有数の精神科からの地域移行率」(第1分科会)●「平成16年度からの総合相談支援センターから今日の計画相談に至る長野の相談支援体制」(第2分科会)●「障害のある方の働く、に夢を持つ長野の実践家集合」(第3分科会)●「総合的、一体的取り組みに踏み出した長野の発達障害施策」(第4分科会)

「イケてる？ながの」、果たして？ その実践の現在進行形を覗いて下さい。

★第1分科会:地域移行への取り組み 定員60名・会場:乗鞍

●暮らしましょう あなたの好きなまちで ～背中を押す人、受けとめてくれる人～

地域移行？地域定着？…。ご存知でしたか。今までの退院支援から仕組みが変わりました。新たな取り組みを体系化することが課題です。あなたの『そんなことが出来るの』『夢じゃないよね』のつぶやきに応えるためにも、ネットワークを組み、私たちは応援します。

★第2分科会:相談支援体制への取り組み 定員200名・会場:ロイヤルホール

●『地域で暮らす』をテーマに目指してきた長野の相談支援の現状 ～より身近に、そしてより丁寧に寄り添うために～

平成16年10月、地域で暮らすをテーマに長野県各圏域に総合支援センターが設置されて10年目を迎えています。制度改正など目まぐるしい状況の中、相談支援というゆるぎない位置づけが確立されました。目指すべき長野の相談支援を熱く語り合しましょう。

講演 厚生労働省 相談支援専門官 遅塚 昭彦 氏 (他シンポジウム)